



うらやす

宇部市立上宇部小学校
学校だより 1月号
令和4年1月11日発行

新春に思う ～『ありがとう』を忘れた大人？

校長 三輪 孝行

新年あけまして おめでとうございます。
皆さま 新しい気持ちで新春をお迎えのことと拝察いたします。

さて、私の住む近所に車がなかなか離合できない箇所があります。対向車がなければよいのですが、対向車が来た時には、車を停めてしばらく待たなければなりません。待つ時間は長く感じるものです。そんな時、車を待っている間、楽しみが一つあります。

対向車が私の車の前を通過する時、相手の運転手が、「道をゆずってくれてありがとう」の気持ちで、会釈をしたり片手を挙げて合図を送ったりしてくれるとなんだか嬉しくなります。また、私が待ってもらった時、「ありがとう」の気持ちを片手を挙げて示した合図に、返礼があると嬉しくなるのです。

離合している時、通過する車の運転手がいさつを返してくれるかどうかを楽しみにしています。たわいのない小さなことですが、全く知らない人とこのいさつのやりとりがあると、その日一日がなんだか良いことがありそうに思えるのです。

外出時にしばしば通る道なのでよく利用しているのですが、最近では、この行為に変化を感じています。

以前は、ほぼ100%に近いいさつのやりとりがあったのですが、最近ではあまりそのやりとりがなくなりました。いさつのやりとりができればと願っていても、見向きもしない運転手が目の前を通過します。もみじマークやわかばマークの運転手には、いさつの気持ちはあっても前方注視のため余裕がないのは分かりますが、当然の如く通過する姿には失望してしまいます。

私のひそかな楽しみは、だんだんと叶えられない日が増え、寂しさを感じるようになりました。

最近では、毎日のように凶悪事件が発生したとニュースで報じられ、そうなった原因は分かりませんが、お互いに、「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えあっていたら、そこまでのことにはならなかった事件もあるのではないかと思います。

小さな心のすれ違いが、大きな事件に発展したのではないのでしょうか。

人と人とのすき間は、「ありがとう」の感謝の言葉や、「ごめんなさい」という反省の言葉を素直に発することで埋めることができると思っています。

荘司武（しょうじ たけし）さんの詩にもあるように、

ありがとう ありがとう いえばとってもいいきもち
いわれりゃもっといいきもち ありがとう ありがとう

の気持ちで、人間社会を機能させれば、摩擦は生じても事が大きくなることはないように感じます。

子どもに対して感謝の気持ちをもちましようというからには、私たち大人自身がそのお手本となっているかどうか。私自身、感謝の気持ちを大切に、この一年を過ごしたいと思っています。

本年も、上宇部小学校への御支援・御協力をお願い申し上げ、御挨拶いたします。